

資源のみち部門

多摩川上流水再生センター「下水汚泥と木質系バイオマスの混合焼却施設」

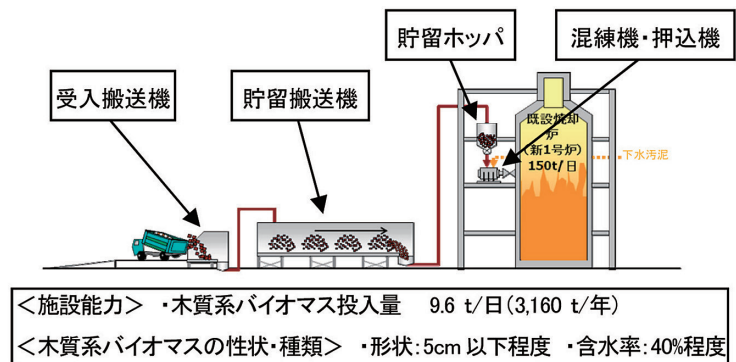
◆◆◆下水道事業と花粉症対策のコラボレーション◆◆◆

東京都

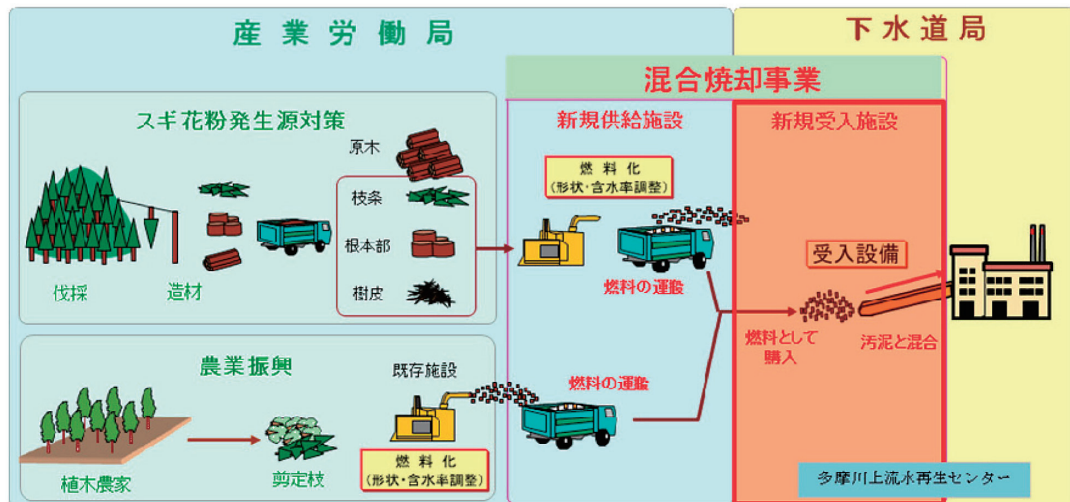
混合焼却施設全景



施設概要



事業スキーム



事業効果

●温室効果ガス削減量：約 1,000t-CO₂/年

●都市ガス削減量：約 543,000m³/年

<算定条件> 木質系バイオマス使用量 3,160 t/年 (9.6 t/日)

東京ドーム(4.7ha)の約59倍の面積の森林が吸収する量に相当

一般家庭約1,610世帯が1年間に使用する都市ガス量に相当

東京都では、スギ花粉発生源対策から発生する未利用材や植木剪定枝等から製造したチップを受入れ、脱水汚泥と混合して焼却する施設を建設しました。

この施設は、多摩産材の未利用材等を木質系バイオマスとして有効活用することで、補助燃料の利用量を減らし、未利用材の利用促進と温室効果ガスの削減に貢献するものです。